

コロナ禍における設営撤去に関する提言

河村都（舞台監督・関西）

コロナ禍に於いても、可能な限りの感染予防策をこうじて公演を開催していく上で、観客を動員する本番時についてのガイドラインは定着する兆しはあるが、主催者団体さま方におかれましては、設営、開催準備の時間配分を加味したスケジュールをお考え頂くよう、お願いしたい。

かつては、時間が限られた現場であっても、人数の投入による時間の節約が可能であったが、人数を投入する事による密な空間、作業中においても、適切なソーシャルディスタンスを取ることの難しさを感じる。

あわせて、作業中の適度な換気についても、環境によっては作業全体を中断した上で、換気を行わないとならない場合もあり(扉の解放による換気を推奨されるような場合)、また、施設使用後の清掃や消毒の作業が必要となっている。

以前のようなスケジュールではタイムテーブルが組めない環境下に在る。この事を、企画運営方々がご理解頂けていない場合、現場において、感染予防策か、作品創り、どちらかを天秤にかけなければならない判断が、現場で発生しやすい環境になり、徹底した感染予防策が軽んじられる原因に成りかねない。

厳密な規則の制定までは必要ないと思われるが、注意喚起として、公に講じて頂けないでしょうか？